



## 2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日

上場会社名 株式会社アイキューブドシステムズ 上場取引所 東  
コード番号 4495 URL <https://www.i3-systems.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 CEO (氏名) 佐々木 勉  
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 増田 恵美子 (TEL) 092-552-4358  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年6月期第3四半期の連結業績(2024年7月1日~2025年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	2,718	25.1	701	32.3	688	34.2	441	29.9
2024年6月期第3四半期	2,173	9.4	530	8.3	513	5.1	340	2.4

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 454百万円( 33.4%) 2024年6月期第3四半期 341百万円( 2.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	86.58	85.85
2024年6月期第3四半期	64.28	63.68

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	4,218	3,044	67.7
2024年6月期	3,609	2,579	71.2

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 2,855百万円 2024年6月期 2,570百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2025年6月期	—	0.00	—		
2025年6月期(予想)				34.00	34.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 配当予想の修正については、本日(2025年5月14日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	25.5	853	23.2	834	24.8	567	22.3	111.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) ワンビ株式会社 、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年6月期3Q	5,306,750株	2024年6月期	5,303,750株
2025年6月期3Q	200,168株	2024年6月期	200,168株
2025年6月期3Q	5,104,732株	2024年6月期3Q	5,293,872株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、パーパスを「笑顔につながる、まだ見ぬアイデア実現の母体となる」、提供価値を「デザインとエンジニアリングの力で、挑戦を支える」と定義した上で、「挑戦を、楽しもう。」をブランドスローガンに掲げ、挑戦的な文化を醸成し、ITを軸とした様々な挑戦を積極的に進めていく企業を目指しております。

事業内容としては、企業、教育、医療の現場で活用されるモバイル端末の一元管理・運用を行うSaaS（Software as a Service）を提供する「CLOMO事業」を主軸に展開しております。また、CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）やM&Aを通じた投資活動により、グループの持続的成長とスタートアップ企業の新たな価値創造を支える「投資事業」を運営しております。

組織面では、様々なライフイベントに応じた柔軟な働き方を実現するための各種制度を設け、性別や国籍を問わない採用活動により、多様性のある組織づくりを推進しております。また、人材育成のための研修などの成長支援を通じて、挑戦を積極的に行う文化の醸成に取り組んでおります。このような取り組みの結果、Great Place to Work® Institute Japanが世界共通の基準で従業員の意識調査を行う、「働きがいのある会社」ランキングにおいて、5年連続で働きがいのある会社として認定されております。

また、当社グループは、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式の魅力を高め、より多くの株主様に保有いただくことを目的として、新たに株主優待制度を導入いたしました。2025年6月末日を初回基準日として、以降は中間及び期末の年2回実施するものであり、本制度を通じて当社株式の流動性向上や認知度向上につながることを期待しております。

経営成績の状況について、売上高は、CLOMO事業でOEM提供による新規顧客の獲得が進んだことに加え、投資事業で営業投資有価証券の売却による売上が発生し、前年同期比で増加しました。売上原価は、CLOMO事業でソフトウェアに対する顧客からの要望に応じ、一部の軽微な改修を優先した結果、製造経費が増加したことに加え、投資事業における売却原価及び投資先の評価損が発生したことにより、前年同期比で増加しました。販売費及び一般管理費については、人件費の増加に加え、ワンビ株式会社の株式に対する公開買付けに係る諸費用等が発生したことにより、前年同期比で増加しました。さらに、2025年1月に子会社化（みなし取得日：2024年12月31日）したワンビ株式会社の損益計算書を当第3四半期連結会計期間から連結対象に含めたことにより、売上高、売上原価、販売費及び一般管理費がそれぞれ増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,718,477千円（前年同期比25.1%増）、営業利益701,890千円（前年同期比32.3%増）、経常利益688,797千円（前年同期比34.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益441,968千円（前年同期比29.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① CLOMO事業

CLOMO事業においては、2010年から提供を開始したモバイル端末管理ソフトウェアサービス「CLOMO MDM」及びモバイル端末向けアプリサービス「CLOMO SECURED APPs」を事業の主軸に、クラウドを利用したB to BのSaaS事業をサブスクリプションの形で提供しており、2024年12月に公表されたMDM市場（自社ブランド）シェアにおいて、2011年度から14年連続でシェアNo. 1を達成しました（注1）。さらに、CLOMOサービスは2024年2月に「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）（注2）」に登録され、政府が求める高いセキュリティ水準をクリアしたサービスとして認められております。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き、既存及び新規の販売パートナーとの連携を強化し、販売網を強化・拡大しております。また、自社ブランド製品であるCLOMO MDMの販売に加え、OEM製品の展開にも取り組んでおり、株式会社NTTドコモが提供するMDMサービス「あんしんマネージャーNEXT（注3）」へのOEM提供を行っております。

CLOMO事業のさらなる成長に向けては、顧客基盤の拡大に加えて、ARPU（注4）の向上が重要であるため、オプションサービスの拡充戦略を推進しております。具体的には、セキュリティ対策製品や運用支援サービスなど、MDMの周辺サービスをラインナップし、クロスセルを通じたARPUの向上に取り組んでおります。

製品開発においては、CLOMOサービスのPC資産管理市場でのシェア獲得に必要となるWindows PC向けの機能強化のほか、他社製品との連携、オプションサービスの機能拡充など、顧客のニーズに応えるための開発活動に注力しております。また、当社は2025年3月に、Microsoft CorporationのDevice Compliance Partnerとして

「Microsoft Intune（注5）」との連携機能を実装し、「Microsoft Entra ID（注6）」の条件付きアクセスに対応しました。昨今、働き方の多様化やDXの推進によって企業などの組織におけるモバイル端末の活用が急速に拡大しており、多様な端末が業務に利用される環境下で、企業の情報資産を安全に管理する重要性が高まっております。この機能により、IT管理者はCLOMOサービスで管理された端末のみがMicrosoft365のアプリにアクセスできるよう制御でき、より強固なセキュリティ管理が実現可能となります。さらに、国内の競合他社においては、現時点ではMicrosoft Entra IDの条件付きアクセスに対応しておらず（注7）、CLOMOサービスの市場競争力を一層高めるものと考えております。

また、2025年1月に子会社化（みなし取得日：2024年12月31日）したワンピ株式会社の損益計算書を、当第3四半期連結会計期間から「TRUST DELETE」としてCLOMO事業セグメントの連結範囲に含めたことにより、売上高及び営業利益が増加しております。同社はWindows PC向けの情報漏洩対策ソリューションを開発・提供しており、これまでに75万台以上の豊富な導入実績を有しています。同社のグループ参画により、Windows PC向けサービスの強化に加え、販路共有による顧客基盤の拡大を図りながら、CLOMO事業のさらなる成長を目指してまいります。

これらの取り組みにより、導入法人数（注8）は8,132社（前連結会計年度末に比べ1,422社、21.2%増）に達しました。

この結果、売上高は2,597,485千円（前年同期比19.5%増）、営業利益は722,597千円（前年同期比27.6%増）となりました。

なお、サービス別の内訳は次のとおりであります。

CLOMO MDM	売上高	2,215,985千円
TRUST DELETE	売上高	141,720千円
SECURED APPs	売上高	113,318千円
その他	売上高	126,461千円

## ② 投資事業

投資事業では、ベンチャーキャピタル子会社である株式会社アイキューブドベンチャーズを通じてアイキューブド1号投資事業有限責任組合を設立し、CVCとして投資活動を推進しております。

主な投資対象はモバイル、SaaS、セキュリティ等、当社事業領域と親和性の高い企業、社会課題解決型企業及び当社グループが本社を置く九州の地場で活動している企業としております。また、当社グループの新たな市場領域への進出及び収益源の創出を図るべく、M&Aを通じた新事業開発にも積極的に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、新たに2社へ投資し、累計投資社数は9社となっております。また、アイキューブド1号投資事業有限責任組合における営業投資有価証券の売却による収益を当第3四半期連結累計期間において計上しました。

この結果、売上高は120,991千円（前年同期は一千円）、営業損失は20,707千円（前年同期は営業損失35,901千円）となりました。

（注）1. 出典 デロイト トーマツ ミック経済研究所「コラボレーション/コンテンツ・モバイル管理パッケージソフトの市場展望（<https://mic-r.co.jp/mr/00755/>）」2011～2013年度出荷金額、「MDM自社ブランド市場（ミックITレポート12月号：<https://mic-r.co.jp/micit/2024/>）」2014～2023年度出荷金額・2024年度出荷金額予測。

2. 政府が求めるセキュリティ要求を満たしているクラウドサービスを予め評価・登録することにより、政府のクラウドサービス調達におけるセキュリティ水準の確保を図り、円滑に導入できることを目的とした制度です。本制度は「政府情報システムにおけるクラウドサービスのセキュリティ評価制度の基本的枠組みについて」（2020年1月30日サイバーセキュリティ戦略本部決定）に基づき、内閣サイバーセキュリティセンター・デジタル庁・総務省・経済産業省が運営しています。
3. 株式会社NTTドコモが提供しているモバイル端末管理サービスです。主に、社員・生徒に貸与したモバイル端末に対して紛失・盗難時に有効な「ロック/初期化」機能や、「カメラ制御」「利用可能アプリの制限」などのセキュリティ機能、「アプリ配信」などのデバイス管理業務効率化機能を備えています。

4. Average Revenue Per Userの略称であり、導入法人数当たりの平均月間単価。
5. Microsoft Corporationが提供するモバイル端末及びモバイルアプリケーション管理のクラウドサービスです。
6. Microsoft Corporationが提供するIDやアクセス管理のクラウドサービスです。
7. 2025年3月末時点の当社調べによる情報です。
8. TRUST DELETEの導入法人数は含めておりません。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における財政状態については次のとおりであります。

### (資産)

総資産は4,218,620千円となり、前連結会計年度末に比べ609,381千円の増加となりました。これは主に現金及び預金が353,321千円、のれんが193,129千円、投資その他の資産が101,002千円、売掛金が67,789千円増加し、ソフトウェアが81,234千円、営業投資有価証券が49,087千円減少したことによるものであります。

### (負債)

負債は1,173,927千円となり、前連結会計年度末に比べ144,253千円の増加となりました。これは主に契約負債が208,593千円、買掛金が7,612千円増加し、未払法人税等が53,013千円、賞与引当金が2,997千円減少したことによるものであります。

### (純資産)

純資産は3,044,692千円となり、前連結会計年度末に比べ465,127千円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が441,968千円、非支配株主持分が178,294千円増加し、剰余金の配当に伴い利益剰余金が163,314千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は67.7%（前連結会計年度末は71.2%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の連結業績予想につきましては、2025年4月9日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,812,591	2,165,913
売掛金	332,127	399,916
営業投資有価証券	265,391	216,303
その他	115,215	109,615
流動資産合計	2,525,326	2,891,749
固定資産		
有形固定資産	44,061	39,740
無形固定資産		
ソフトウェア	246,828	165,594
ソフトウェア仮勘定	103,978	139,012
のれん	133,248	326,378
その他	7,417	6,765
無形固定資産合計	491,473	637,750
投資その他の資産	548,377	649,380
固定資産合計	1,083,912	1,326,871
資産合計	3,609,238	4,218,620
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	46,590	54,202
未払法人税等	189,136	136,122
契約負債	483,634	692,227
賞与引当金	89,506	86,509
その他	220,805	204,865
流動負債合計	1,029,673	1,173,927
負債合計	1,029,673	1,173,927
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	413,018	414,068
資本剰余金	313,018	314,068
利益剰余金	2,151,179	2,429,833
自己株式	△299,174	△299,174
株主資本合計	2,578,042	2,858,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,090	4,200
為替換算調整勘定	△8,944	△7,807
その他の包括利益累計額合計	△7,854	△3,607
新株予約権	6,486	8,319
非支配株主持分	2,890	181,184
純資産合計	2,579,565	3,044,692
負債純資産合計	3,609,238	4,218,620

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,173,719	2,718,477
売上原価	562,837	780,678
売上総利益	1,610,881	1,937,799
販売費及び一般管理費	1,080,338	1,235,908
営業利益	530,543	701,890
営業外収益		
受取利息	34	1,085
受取配当金	373	—
その他	1,563	1,007
営業外収益合計	1,972	2,093
営業外費用		
固定資産除却損	2,496	4,521
投資事業組合運用損	16,529	10,653
その他	293	10
営業外費用合計	19,319	15,186
経常利益	513,196	688,797
税金等調整前四半期純利益	513,196	688,797
法人税等	173,323	238,195
四半期純利益	339,872	450,602
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△429	8,634
親会社株主に帰属する四半期純利益	340,302	441,968



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	339,872	450,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,184	3,109
為替換算調整勘定	—	1,137
その他の包括利益合計	1,184	4,246
四半期包括利益	341,057	454,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,486	446,215
非支配株主に係る四半期包括利益	△429	8,634

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	CLOMO事業	投資事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,173,719	—	2,173,719	2,173,719
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,173,719	—	2,173,719	2,173,719
セグメント利益 又は損失(△)	566,444	△35,901	530,543	530,543

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	CLOMO事業	投資事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,597,485	120,991	2,718,477	2,718,477
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,597,485	120,991	2,718,477	2,718,477
セグメント利益 又は損失(△)	722,597	△20,707	701,890	701,890

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、ワンビ株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、CLOMO事業セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は222,965千円であります。なお、当該のれんは、当第3四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	247,420千円	252,228千円
のれんの償却額	一千円	30,938千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。